

## 保証書

■保証期間	ご購入日より 1年間
■製品名	EZCast ProAV (ET02/ER02/WT02/WR02)
■ご購入日	年 月 日
■販売店	<b>イー・リンク株式会社</b> 〒182-0002 東京都調布市仙川町1-8-4 フェアリービル202

### <本製品を正しく使用するために>

次の使用上の注意、保証内容についてお読みの上、正しくご使用ください。

- ・本製品のご使用には付属のケーブルをご使用ください。
- ・本製品は換気の良い場所でご使用ください。本製品の動作環境は0~40℃です。  
高温・多湿・低温・埃の多い場所での使用や保管はしないでください。
- ・本製品を乾燥機や電子レンジ等に入れないでください。火災・破損の原因になります。
- ・本製品の上に重いものを置いたり、強く押すなどの圧力をかけないでください。
- ・本製品を投げたり、激しく振ったり、無理やり外すなどの強い衝撃は与えないでください。
- ・お客様による分解・修理は、本製品の破損やけがの原因にもつながりますので、絶対に行わないでください。  
動作不良や故障などの問題がある場合は販売店または、弊社サポートまでご相談ください。
- ・故障の原因になりますため、本製品・付属品は薬品、洗剤、水などで洗わないでください。  
また屋外などで使用する場合は、本製品が雨に濡れないようご注意ください。
- ・お手入れには乾いたやわらかい布でふいてください。お手入れによる損傷は保証の範囲外となります。
- ・長期間使用しない場合は、製品を取り外し、清潔な状態で保存してください。

### <製品保証について>

本製品は保証期間中の正しい使用で動作不良が見られる場合に無償で修理・交換することを保証いたします。  
動作不良が見られた場合は、破損や思わぬ事故の原因となりますので、速やかに製品の使用を中止し、販売店へお問合せください。但し、保証期間内であっても以下の場合は有償修理となります。

- ・お客様の故意または過失による故障・破損の場合
- ・誤った取扱い、改造による故障や破損の場合
- ・火災、地震、台風などの自然災害に起因する破損の場合
- ・高温・低温・多湿といった環境の下で自然消耗・錆・カビによる劣化が見られる場合
- ・強い衝撃を与えるなどの使用上の誤りまたは取扱説明書記載以外の使用による破損が見られる場合
- ・本製品故障によって生じた経済的損害や二次災害
- ・本製品以外の他の製品に生じた故障・損傷による損害
- ・本製品以外の他の製品が起因して生じた本製品の故障・破損の場合

※本製品の紛失・盗難は保証の対象外です。また購入履歴が確認できない場合は、保証は受けられません。

お問合せ | **イー・リンク株式会社**

〒182-0002 東京都調布市仙川町 1-8-4-202  
mail : info@alinkcorp.co.jp

# EZCast ProAV

(ER/ET/WR/WT)  
クイックスタートガイド



ER/ ET

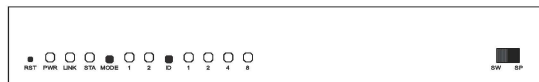


WR/ WT

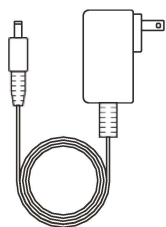
 **イー・リンク株式会社**  
<http://www.alinkcorp.co.jp/>

- 1.最大15x15入出力のアプリケーション向けに、エクステンダー、スプリッター、マトリックス、スイッチャー用に組み立てるモジュラー設計。
2. 4K 30P、1080 60P HDMI信号を1本のCat5Eケーブル、100メガビットイーサネットまで最大180m（600フィート）まで拡張します。
3. 拡張と配布には従来のイーサネットL2スイッチを使用し、長距離の場合はL2イーサネットスイッチでカスケード接続できます。
3. IPを介したIR（20KHz～60KHz）拡張およびRS232拡張をサポートします。
4. HDMI拡張とは独立して、ステレオオーディオオーバーIPをサポートします。
5. ボタン選択によるIPおよびKVMスイッチ機能を介したUSB（キーボード、マウス）拡張をサポートします。
6. 最も一般的な16：9、16：10、4：3の解像度とタイミングを含む、EDID/バススルーと送信機解像度バススルーをサポートします（サポートリストは付録を参照してください）。
7. グラフィック/ビデオモードの選択をサポートし、待ち時間は0.06～0.10秒です。
8. インターネットアクセスでルーターに接続する際のクラウドファームウェアのアップグレードをサポートします。
9. 組み込みのL2スイッチに接続するWin / Mac OS用にインストールされたCMS（中央管理システム）およびイーサネット接続を介したWeb設定をサポートします。

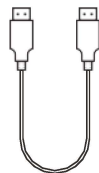
## 同梱品



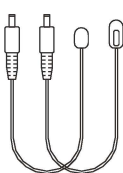
製品：ER/ ET/ WR/ WT



電力ケーブル



USB-Aデータケーブル



IR用RX / TXアダプター

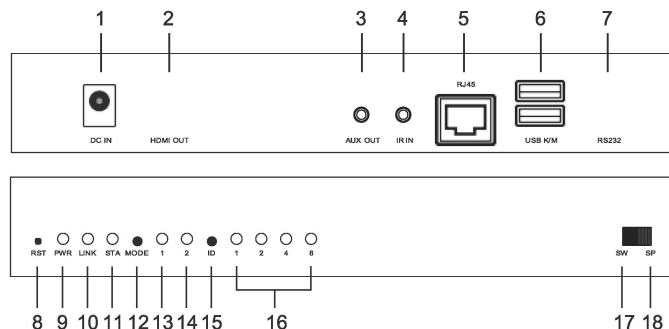


ホルダーX2

※HDMIケーブルは同梱しておりません。

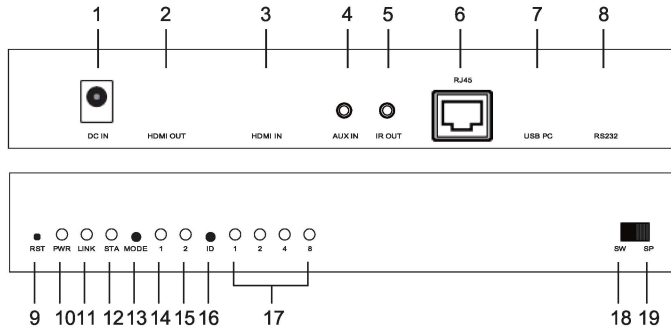
ProAVはサイネージ、映像長距離機器として設置する場合など、ケーブル長さが変わりますので、HDMIケーブルはお客様ご自身でご用意が必要です。

## ERのハードウェア概要



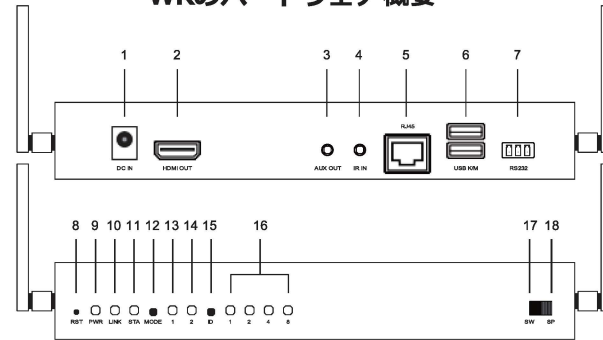
1. DC入力ポート：12V / 1A電源が必要です。
2. HDMI OUTポート：ディスプレイ用のモニターに接続します。
3. AUX OUTポート：接続されているスピーカーに音声を出力します。HDMIOUTポートはオーディオ信号を同時に受信することに注意してください。
4. IR INポート：リモコン用の入力IR信号。
5. RJ45ポート：ブリッジ用のLANケーブルでルーターまたはスイッチに接続します。
6. USB K / M：リモートコントロール用の外部キーボードとマウスをサポートします。
7. RS232：リモコン用のRS232信号を入力します。
8. リセット穴：長押しすると、工場出荷時のデフォルト設定にリセットされます。
9. PWRライト：電源供給時の点灯。
10. LINKライト：データ送信時に点滅します。
11. STAライト：HDMIケーブル接続時の点灯。
12. MODEボタン：クリックして表示モード（モード1の点灯）を切り替え、長押しして解像度を最適化します。
13. モード1ライト（表示モード）：ライトオフは待ち時間が短いグラフィックモードを示し、ライトオンはパッケージの紛失率が少ないビデオモードを示します。
14. モード2ライト（チャンネルビット）：ライトオンはチャンネル調整がハイビットチャンネル用であることを示し、ライトオフはチャンネル調整がロービットチャンネル用であることを示します。
15. IDボタン：クリックしてチャンネルIDを切り替え、長押ししてハイビットとロービットのチャンネル調整を切り替えます（モード2の点灯）。
16. チャンネル信号：チャンネル番号は、ライトオン信号が表すものの合計です。
17. スイッチモード：同じチャンネルIDでETの画面を表示します。
18. スプリッターモード：1対1の拡張ディスプレイの場合はETに直接接続するか、1対Nのマルチキャストの場合はスイッチを介して接続します。チャンネルIDは設定しないでください。

## ETのハードウェア概要



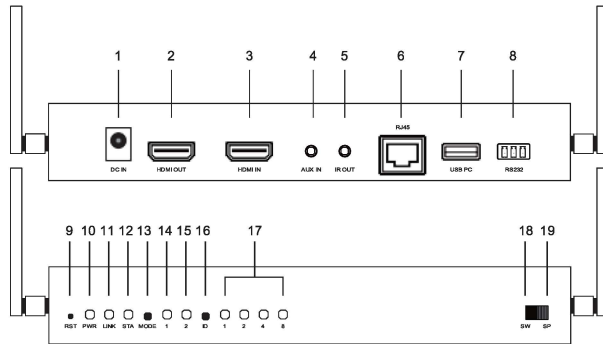
1. DC入力ポート：12V / 1A電源が必要です。
2. HDMI OUTポート：ループバック用のモニターに接続します。
3. HDMI入力ポート：デバイス（ラップトップまたはコンピューター）に接続します。
4. AUX INポート：HDMIソースからのオーディオを置き換えるための入力オーディオ。
5. IR OUTポート：リモコン用のIR信号を出力します。
6. RJ45ポート：ブリッジ用のLANケーブルでルーターまたはスイッチに接続します。
7. USB PC：コンピューターに接続して逆制御信号を受信します。
8. RS232：リモコン用のRS232信号を出力します。
9. リセット穴：長押しすると、工場出荷時のデフォルト設定にリセットされます。
10. PWRライト：電源供給時の点灯。
11. LINKライト：イーサネット接続時の点灯。
12. STAライト：データ送信時に点滅します。
13. MODEボタン：クリックしてDHCPモードを有効にします（モード1の点灯）。
14. モード1ライト（DHCPモード）：点灯しているライトは、チェックのためにDHCPサービスがオンになっていることを示し、点滅しているライトは、ETがDHCPサービスを実行していることを示します。
15. モード2ライト（チャンネルビット）：ライトオンはチャンネル調整がハイビットチャンネル用であることを示し、ライトオフはチャンネル調整がロービットチャンネル用であることを示します。
16. IDボタン：クリックしてチャンネルIDを切り替え、長押ししてハイビットとロービットのチャンネル調整を切り替えます（モード2の点灯）。
17. チャネル信号：チャネル番号は、ライトオン信号が表すものの合計です。
18. スイッチモード：同じチャネルIDで画面をERに表示します。
19. スプリッターモード：1対1の拡張ディスプレイの場合はERに直接接続するか、1対Nのマルチキャストの場合はスイッチを介して接続します。チャネルIDは設定しないでください。

## WRのハードウェア概要



1. DC入力ポート：12V / 1A電源が必要です。
2. HDMI OUTポート：ディスプレイ用のモニターに接続します。
3. AUX OUTポート：接続されているスピーカーに音声を出力します。HDMI OUTポートはオーディオ信号を同時に受信することに注意してください。
4. IR INポート：リモコン用の入力IR信号。
5. RJ45ポート：ブリッジ用のLANケーブルでルーターまたはスイッチに接続します。ファームウェアのアップグレードやCMSシステム制御などの特定の設定の場合のみ。
6. USB K / M：リモートコントロール用の外部キーボードとマウスをサポートします。
7. RS232：リモコン用のRS232信号を入力します。
8. リセット穴：長押しすると、工場出荷時のデフォルト設定にリセットされます。
9. PWRライト：電源供給時の点灯。
10. LINKライト：データ送信時に点滅します。
11. STAライト：HDMIケーブル接続時の点灯。
12. MODEボタン：クリックして表示モード（モード1の点灯）を切り替え、長押しして解像度を最適化します。
13. モード1ライト（表示モード）：ライトオフは待ち時間が短いグラフィックモードを示し、ライトオンはパッケージの紛失率が少ないビデオモードを示します。
14. モード2ライト（チャンネルビット）：ライトオンはチャンネル調整がハイビットチャンネル用であることを示し、ライトオフはチャンネル調整がロービットチャンネル用であることを示します。
15. IDボタン：クリックしてチャンネルIDを切り替え、長押ししてハイビットとロービットのチャンネル調整を切り替えます（モード2の点灯）。
16. チャネル信号：チャネル番号は、ライトオン信号が表すものの合計です。
17. スイッチモード：同じチャネルIDでWTの画面を表示します。
18. スプリッターモード：1対1の拡張ディスプレイまたは1対Nのマルチキャスト用のWTへの直接接続。チャネルIDは設定しないでください。

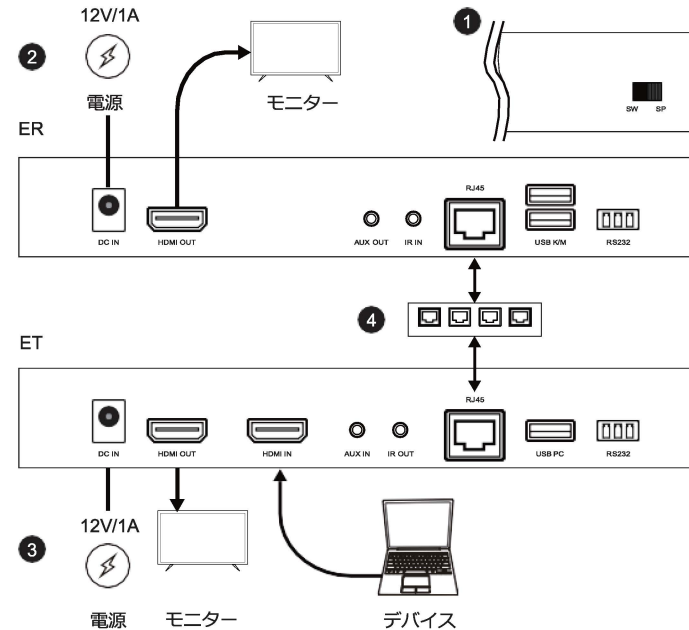
## WTのハードウェア概要



1. DC入力ポート：12V / 1A電源が必要です。
2. HDMI OUTポート：ループバック用のモニターに接続します。
3. HDMI入力ポート：デバイス（ラップトップまたはコンピューター）に接続します。
4. AUX INポート：HDMIソースからのオーディオを置き換えるための入力オーディオ。
5. IR OUTポート：リモコン用のIR信号を出力します。
6. RJ45ポート：ブリッジ用のLANケーブルでルーターまたはスイッチに接続します。ファームウェアのアップグレードやCMSシステム制御などの特定の設定の場合のみ。
7. USB PC：コンピューターに接続して逆制御信号を受信します。
8. RS232：リモコン用のRS232信号を出力します。
9. リセット穴：長押しすると、工場出荷時のデフォルト設定にリセットされます。
10. PWRライト：電源供給時の点灯。
11. LINKライト：イーサネット接続時の点灯。
12. STAライト：データ送信時に点滅します。
15. モード2ライト（チャンネルビット）：ライトオンはチャンネル調整がハイビットチャンネル用であることを示し、ライトオフはチャンネル調整がロービットチャンネル用であることを示します。
16. IDボタン：クリックしてチャンネルIDを切り替え、長押ししてハイビットとロービットのチャンネル調整を切り替えます（モード2の点灯）。
17. チャンネル信号：チャンネル番号は、ライトオン信号が表すものの合計です。
18. スイッチモード：同じチャンネルIDでWRに画面を表示します。
19. スプリッターモード：1対1の拡張ディスプレイまたは1対Nのマルチキャスト用のWRへの直接接続。チャンネルIDは設定しないでください。

## ER / ETのハードウェアインストール

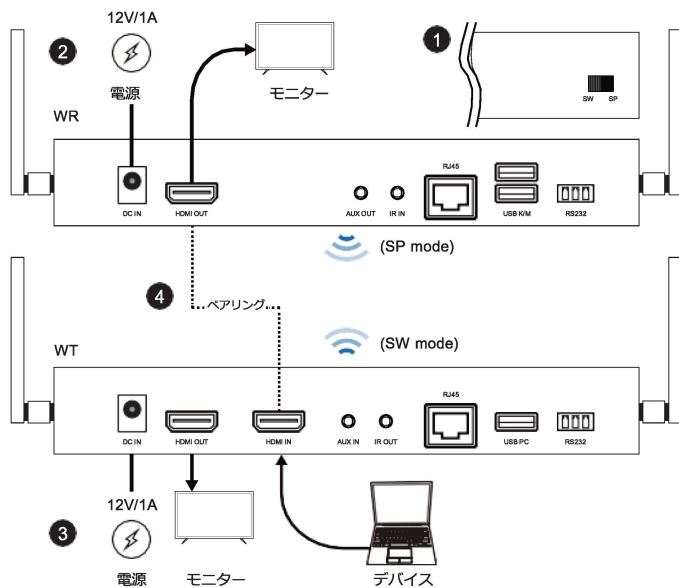
1. ERとETの両方でトグルスイッチを同じモード（SW / SP）に配置します。
2. 電源を12V / 1Aとモニターに接続して、ERに出力を表示します。
3. 電源を12V / 1A、ループバック用モニター、およびETに入力するデバイスに接続します。
4. ERとETをイーサネットケーブルでスイッチに接続します。
5. SWモードの場合、ERとETを同じチャンネルIDに設定してください。同じネットワーク上のすべてのETは、異なるチャンネルIDに設定する必要があります。



## WR / WTのハードウェアインストール

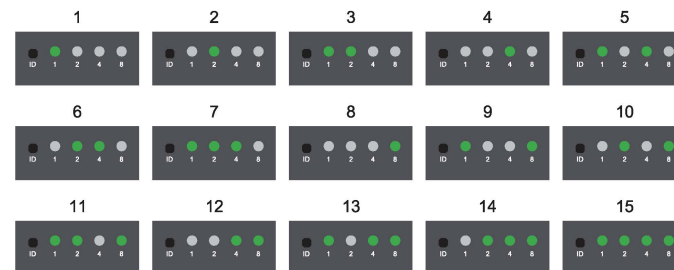
1. WRとWTの両方でトグルスイッチを同じモード（SW / SP挿入※1）に配置します。
2. 電源を12V / 1Aとモニターに接続して、WRに出力を表示します。
3. HDMIケーブルでWRとWTをペアリングします。 STA信号はペアリングが完了するまで点滅し続けます。
4. ペアリング後、電源を12V / 1A、ループバック用モニター、およびWTに入力するデバイスに接続します。
5. SWモードの場合、WRとWTを同じチャンネルIDに設定してください。同じネットワーク上のすべてのWTは、異なるチャンネルIDに設定する必要があります。

※1  
マルチトランスミッター（マルチインプット）/ マルチレシーバー：スイッチモード（SW）  
ワントランスミッター（ワンインプット）/ マルチレシーバー：スプリッターモード（SP）



## チャンネル調整

IDボタンをクリックしてチャンネルを1から15に切り替えます。16を超えるチャンネルの設定については、完全なユーザーマニュアルを参照してください。



表示入力サポートリスト		4K Model
TXHDMI入力とRXHDMI出力		1.11534.0
TX HDMI 入力	RX HDMI 出力	HDMI ループバック出力
640x480 60Hz	800x600 60Hz	640x480 60Hz
800x600 60Hz	800x600 60Hz	800x600 60Hz
1024x768 60Hz	1024x768 60Hz	1024x768 60Hz
1280x720 60Hz	1280x720 60Hz	1280x720 60Hz
1280x720 50Hz	1280x720 60Hz	1280x720 50Hz
1280x768 60Hz	1280x768 60Hz	1280x768 60Hz
1280x800 60Hz	1280x800 60Hz	1280x800 60Hz
1280x960 60Hz	1280x960 60Hz	1280x960 60Hz
1280x1024 60Hz	1280x1024 60Hz	1280x1024 60Hz
1360x768 60Hz	1920x1080 60Hz	1360x768 60Hz
1400x1050 60Hz	1400x1050 60Hz	1400x1050 60Hz
1440x900 60Hz	1440x900 60Hz	1440x900 60Hz
<del>1920x1200 60Hz</del>	<del>1920x1200 60Hz</del>	<del>1920x1200 60Hz</del>
1600x1200 60Hz	1600x1200 60Hz	1600x1200 60Hz
1680x1050 60Hz	1680x1050 60Hz	1680x1050 60Hz
1920x1080 60Hz	1920x1080 60Hz	1920x1080 60Hz
1920x1080i 60Hz	1920x1080 60Hz	1920x1080i 60Hz
1920x1080 50Hz	1920x1080 60Hz	1920x1080 50Hz
1920x1080i 50Hz	1920x1080 60Hz	1920x1080i 50Hz
3840x2160 60Hz	3840x2160 30Hz	3840x2160 60Hz
4096x2160 60Hz	4096x2160 30Hz	4096x2160 60Hz

EZCast ProAVマニュアルはこちらから

